

全国学力・学習状況調査公表

<国語A・B>

○ 良くできている内容

【国語A】

- ・ ほとんどの設問について全国平均よりも高く、また各観点のバランスもとれている。特に歴史的仮名遣いの問題は全国平均よりも10ポイントも高い。

【国語B】

- ・ 一問を除き全国平均よりも高い。また、趣旨を捉え、まとめる力の得点率が高い。

○ 課題

【国語A】

- ・ 「語句の意味を理解し、文脈の中で使う力」に課題がある。

【国語B】

- ・ 全国平均よりも下回った項目は「目的に応じて必要な情報を読み取る」問題である。

<数学A・B>

○ 良くできている内容

【数学A】

- ・ 方程式がおおむねできている。特に、「2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り、2つの二元一次方程式で表すこと」の正答率が高い。

【数学B】

- ・ 全15問中11問が全国平均正答率より高く、数学の活用力や思考力が身につき始めている。特に、「与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することができる。」の正答率が高い。

○ 課題

【数学A】

- ・ 「一次関数のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めること」が課題である。変域について理解させるとともに、その計算を習得させる学習を行います。

【数学B】

- ・ 「筋道を立てて考え、証明すること」が課題である。

日頃から、事象と問題の解決方法を論理的に考える力を身につける学習を行います。